

市町村財政比較分析表(平成21年度普通会計決算)

人口	10,232	人(H22.3.31現在)
面積	65.79	km ²
標準財政規模	4,482,899	千円
歳入総額	6,408,368	千円
歳出総額	6,154,270	千円
実質収支	225,968	千円

● 当該団体値
◆ 類似団体内平均値
T 類似団体内の最大値及び最小値

類似団体内順位 3/46
全国市町村平均 0.55
宮城県市町村平均 0.55

類似団体内順位 4/46
全国市町村平均 91.8
宮城県市町村平均 93.2

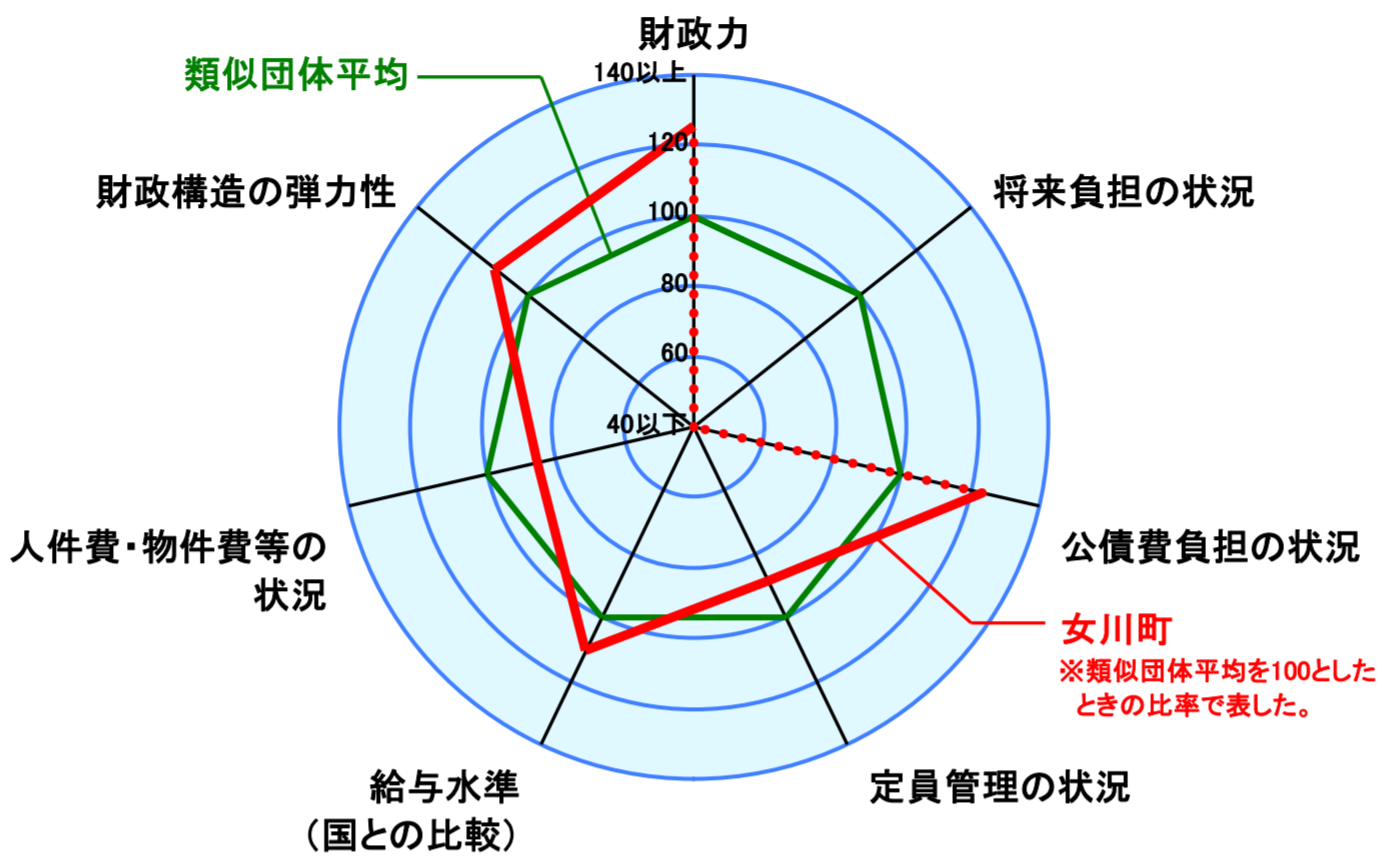
類似団体内順位 41/46
全国市町村平均 115,856
宮城県市町村平均 120,872

類似団体内順位 8/46
全国市平均 98.8
全国町村平均 95.1

類似団体内順位 1/46
全国市町村平均 92.8
宮城県市町村平均 123.9

類似団体内順位 2/46
全国市町村平均 11.2
宮城県市町村平均 13.0

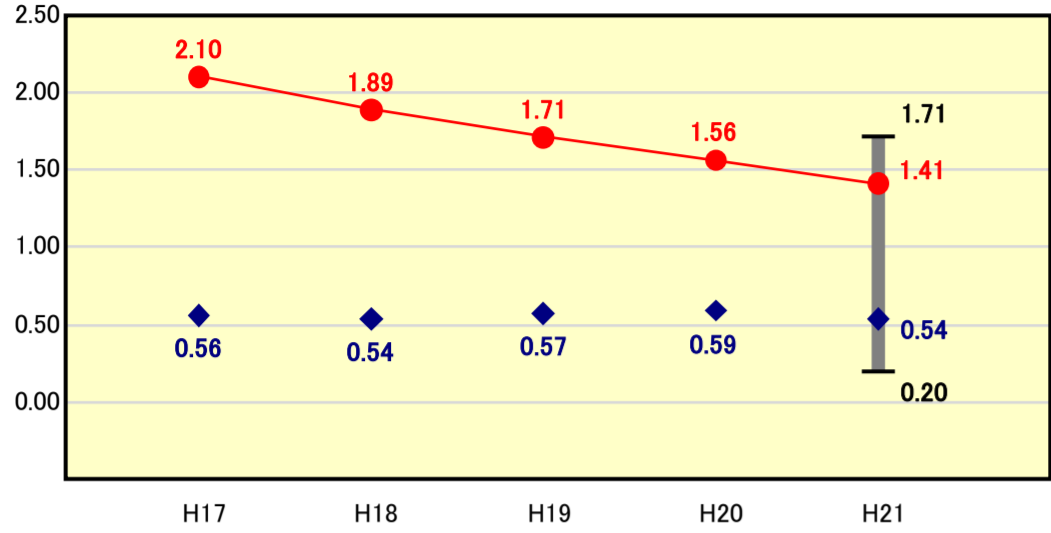
類似団体内順位 40/46
全国市町村平均 7.33
宮城県市町村平均 7.68



※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。
※平成21年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づき実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。
※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。
※類似団体内平均値は、充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体を含めた加重平均であるため、最小値を下回ることもある。

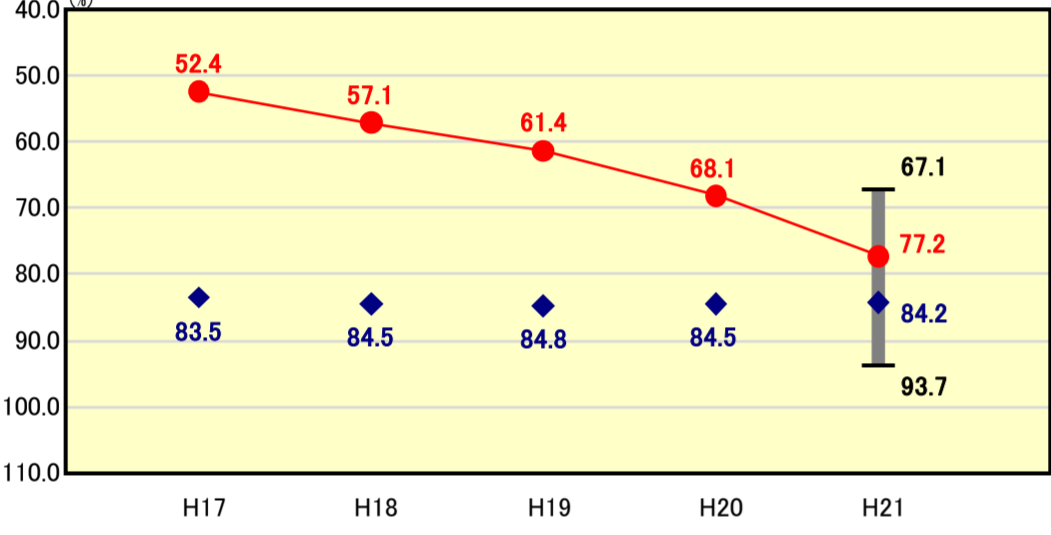
財政力

財政力指数 [1.41]



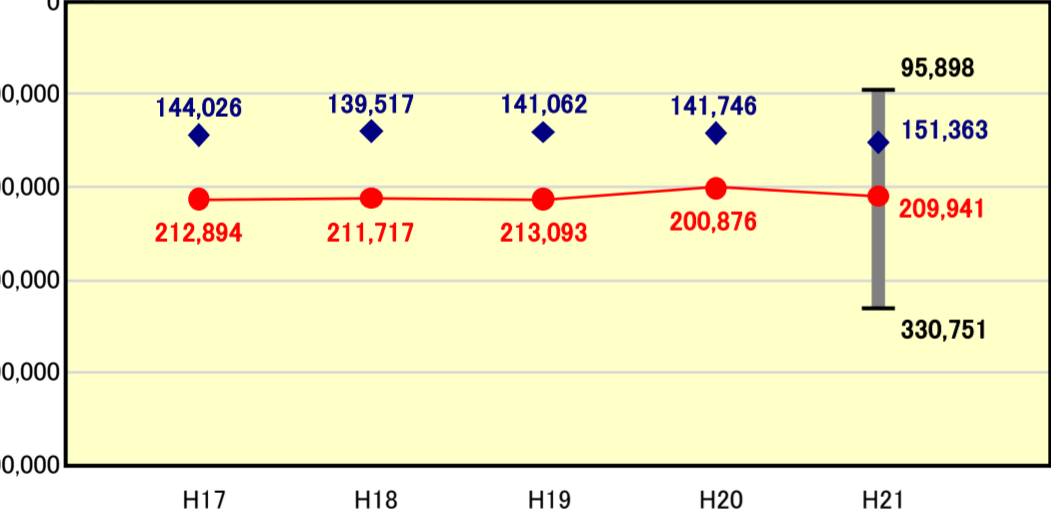
財政構造の弾力性

経常収支比率 [77.2%]



人件費・物件費等の状況

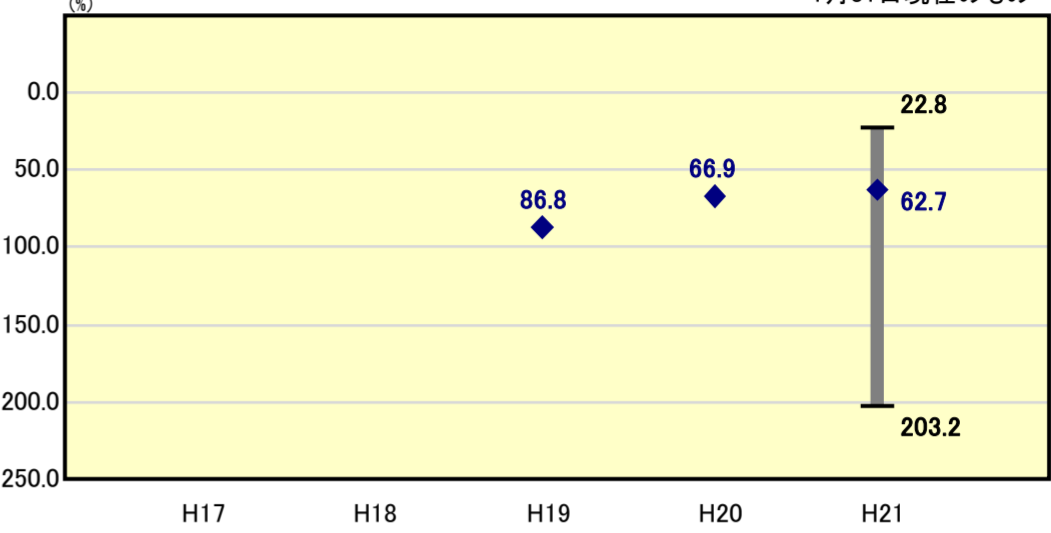
人口1人当たり人件費・物件費等決算額 [209,941円]



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし 人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

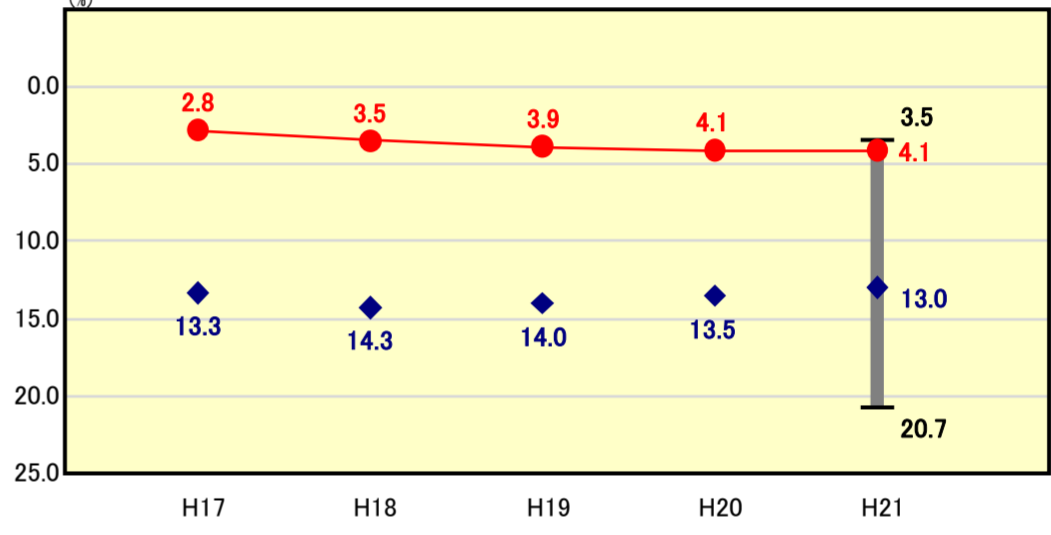
将来負担の状況

将来負担比率 [-%]



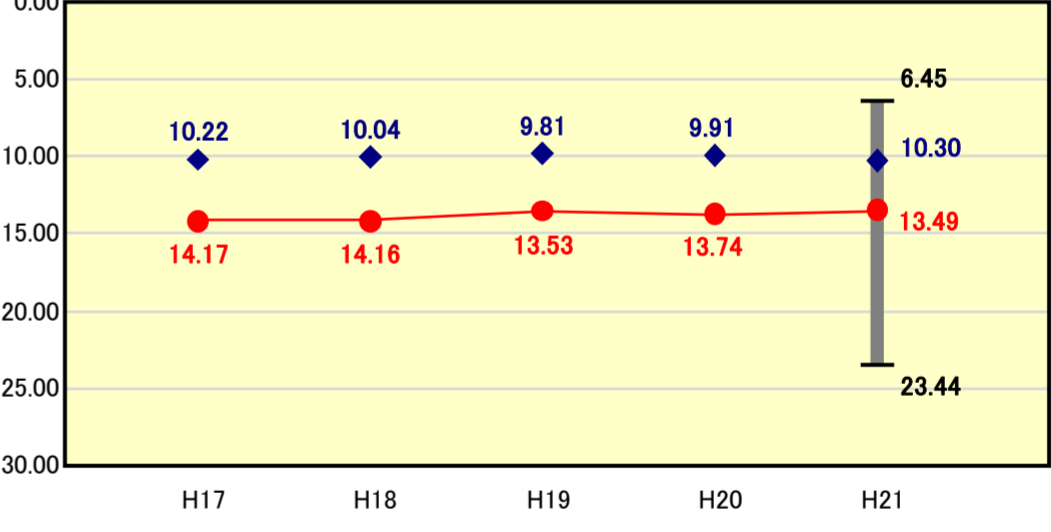
公債費負担の状況

実質公債費比率 [4.1%]



定員管理の状況

人口千人当たり職員数 [13.49人]



分析欄

【財政力】
原子力発電所立地町であるため、類似団体平均を上回る税収があり、財政力指数は1.41となっている。本町の地方税の大半占める固定資産税(原子力発電所施設に係る償却資産分)が減少しているためH18年度をから低下傾向にある。

【財政構造の弾力性】
本町に立地している東北電力女川原子力発電所3号機が平成14年1月30日から営業を開始したことにより、町税の固定資産税(発電所施設に係る償却資産分)が一時的に大幅増となったことで、類似団体と比較し低くなっている。(参考:H15年度42.6%)
しかし、償却資産という性格上減少率が大きく、その税収も減少しているため、経常収支比率は年々上昇傾向にある。

【人件費・物件費等の適正度】
類似団体平均を上回っている。人口規模に比較して公共施設が充実しているため、それらに係る物件費・維持補修費が要因と考えられる。現在、公共施設の運営は、ほとんど直営で行われているが、民間でも実施可能な部分については、指定管理者制度を導入するなどコスト削減に努める。

【ラスパイレス指数】
これまで行政改革大綱に基づき、満55歳以上昇給停止、退職時特別昇給の廃止などを実施し、給与の適正化に努めるとともに、総人件費の抑制を図ってきたところである。

【将来負担の状況】 将来負担額を上回る充当可能財源がある。今後も計画的で健全な財政運営に努める。

【公債費負担の状況】
過去からの起債抑制策により類似団体平均を下回っている。引き続き水準を抑えられるように努めていくものである。

【定員管理の状況】
人口規模に比較して直営の公共施設が充実していることや、離島半島部を持つという地理的条件によって、類似団体と比較して職員数が増えているが、計画的な職員採用や機構改革に取り組み職員数の削減に努めている。